

事業番号	10 04 13	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	みんなで支える里山整備事業				担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト	3-3-2 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト 6-4-1 誇りある暮らし実現プロジェクト			課・局・室	森林づくり推進課		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 3 多様な森林の整備の促進			E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S49 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針							
	施策展開							

1 事業の概要

目指す姿	緊急に手入れが必要な里山林や水源林において、森林所有者や市町村等と連携しながら地域ぐるみで適切な整備を推進することにより、森林の持つ水源涵養や土砂流出防止等の機能の高度発揮を図ります。 成果目標：長野県総合5か年計画：民有林での間伐面積（H25～29年度累計）94,000ha 長野県森林づくりアクションプラン：民有林の間伐面積（H23～32年度累計）184,000ha 森林づくり県民税活用事業の目標：間伐面積（H20～30年度累計）38,400ha										
現状（予算編成時）	これまで整備が進めにくかった里山林や水源林の機能回復を重点的に進めるため、長野県森林づくり県民税による財源を活用し、地域をあげた森林の整備や未利用間伐材の利用促進を計画的に行う必要があります。 間伐目標面積（H20～30年度累計）38,400ha 間伐実績面積（H20～26年度累計）26,751ha（進捗率 70.0%）										
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務） 県民との協働による実施： 実施中	【左記の説明、根拠法令等】 森林法第193条、同施行令第12条 信州の森林づくり事業補助金交付要綱、信州の森林づくり事業実施要領									
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）										
	間伐面積 2,500ha、間伐材搬出材積 4,200m ³ （長野県森林づくり県民税を活用し、平成25年から平成29年の5年間で目標15,000ha（1年当り3,000ha）と20,000m ³ の搬出としている。平成28年度は地域の事業要望を勘案し当初目標の3,000haから2,300haとしたところ（83.3%）。搬出支援については面積を当初目標の76.7%としたため、これに合わせて当初目標の5,000m ³ について、その83.3%の4,200m ³ とした。）										
	② 事業内容 （単位：千円）										
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 （当初）	H28 （決算）	H29 （当初）					
	間伐支援	補助金	里山林や水源林での間伐の実施 1,319ha	675,480	381,183	667,920					
	搬出支援	補助金	間伐後の伐倒木の搬出 1,470m ³	14,700	5,145	16,100					
			合計	690,180	386,328	684,020					
事業コスト	区分（単位：千円）	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越	141,790	38,783		項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
	当初予算	744,090	690,180	684,020				目標	成果	達成状況	
	補正予算		-87,143		間伐面積	2,113ha	1,853ha	2,500ha	1,319ha	未達成	2,300ha
	合計(A)	885,880	641,820	684,020	搬出間伐	2,152m ³	2,442m ³	4,200m ³	1,470m ³	未達成	4,600m ³
	一般財源										
	県債										
	国庫支出金	303,860	224,587	203,520							
	その他	582,020	417,233	480,500							
	決算額(B)	514,079	386,328								
概算人員数(人)	3.30	3.30	3.30								
概算人件費	27,311	26,116	26,116								
概算事業費(B(A)+C)	541,390	412,444	710,136								
目標に対する成果の状況	未整備で残された森林の多くが、所有が細かく零細な森林であり、森林所有者の承諾や境界の確認に不測の時間を要したことにより事業進捗に遅れが生じ、間伐面積は目標2,500haに対し年度内完了が1,319ha（52.8%）であり、間伐材搬出材積は目標4,200m ³ に対し年度内完了が1,470m ³ となった。進捗の遅れと制度変更（年度未申請の廃止）により840haの間伐と200m ³ の間伐材の搬出が繰越しとなった。										

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成29年度は国庫補助に成り難い零細な森林を含め、面的な整備を行なうため、森林税単独事業の割合を増加させ、2,300haの間伐実施を目標とし、事業の推進に努める。